

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：東京都 三鷹市 都市整備部

事業の名称：三鷹駅南口駅前広場第2期整備事業

実施都市名：東京都 三鷹市

事業の目的

三鷹駅南口の駅前広場は、昭和37年に約8,000㎡に拡張整備することが都市計画決定された。事業の実施については、円滑な事業推進を図るため、東西に分割し段階的に進めることとし、平成5年に第1期事業として西側の約4,000㎡が完成した。

第2期事業では、三鷹市の表玄関にふさわしい駅前広場として、バリアフリーの推進、交通機能の充実や歩行者の安全性の確保、玉川上水と一体となった景観整備等を行うため、東側半分の約4,000㎡を拡張整備し、既に整備済の玉川上水沿い「風の散歩道」(三鷹都市計画道路3・4・13号三鷹駅仙川環状線)と接続したものである。

事業概要（１）

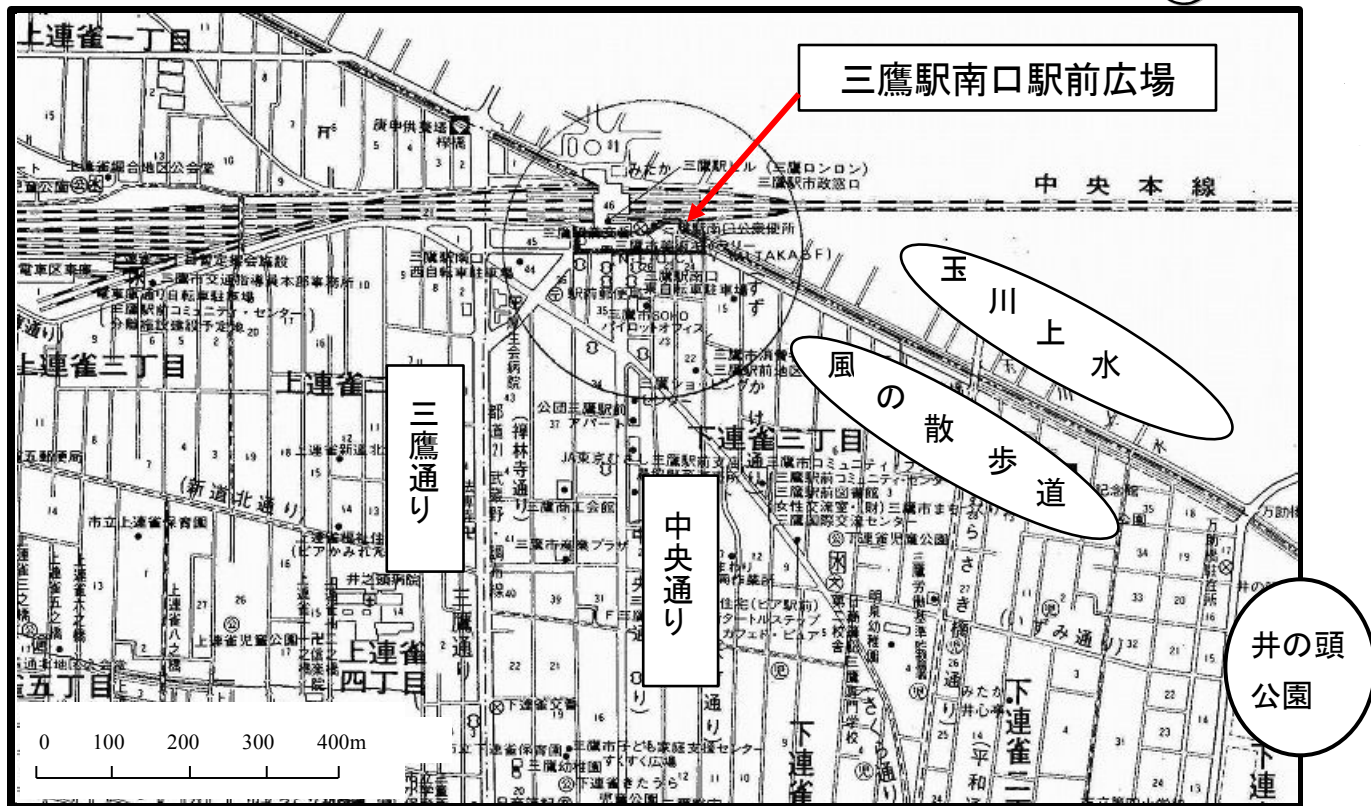
事業名：三鷹駅南口駅前広場第2期整備事業
路線名：三鷹都市計画道路3・5・16号三鷹駅南口線
事業箇所：三鷹市下連雀三丁目内
整備面積：約3,688m²
総事業費：約62億円
事業期間：平成8～平成17年度

事業概要（２）

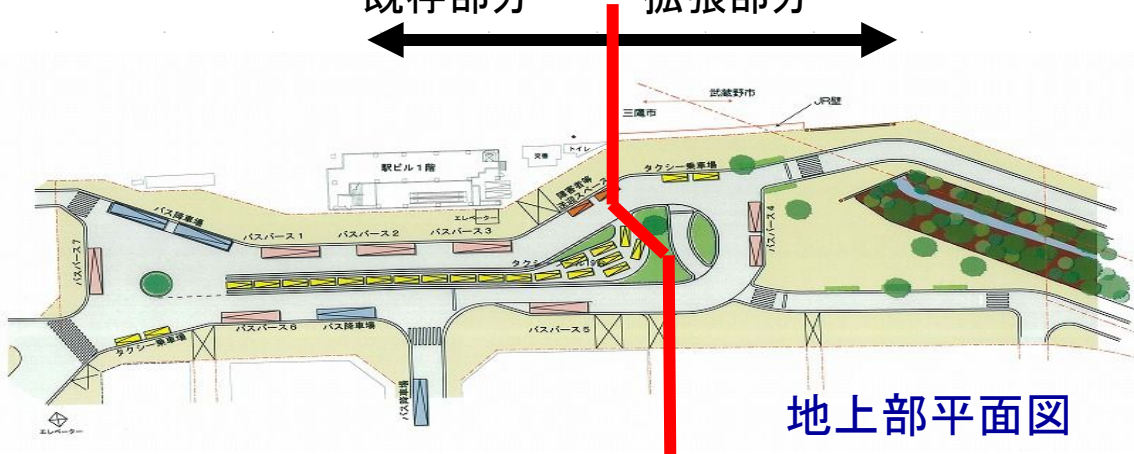
本事業は、三鷹駅南口の駅前広場を、東側に約4,000m²拡張し、既に整備済の玉川上水沿い「風の散歩道」と接続したものである。バリアフリー推進のため、歩道の拡幅、バス停やタクシールールの再配置、デッキの新設・拡張、エレベーターやエスカレーターの増設などを行っている。また、老朽化した三鷹橋を架け替え、耐震性を向上させるとともに歩道と車道を分離し交通上の安全を確保している。さらに、「風の散歩道」の起点付近に「緑の小ひろば」を整備し、玉川上水との一体感を演出している。

これらの結果、三鷹駅、玉川上水、井の頭公園、三鷹の森ジブリ美術館などが、バリアフリーを考慮した安全で格調の高い駅前広場や道路で一体的に結ばれた。

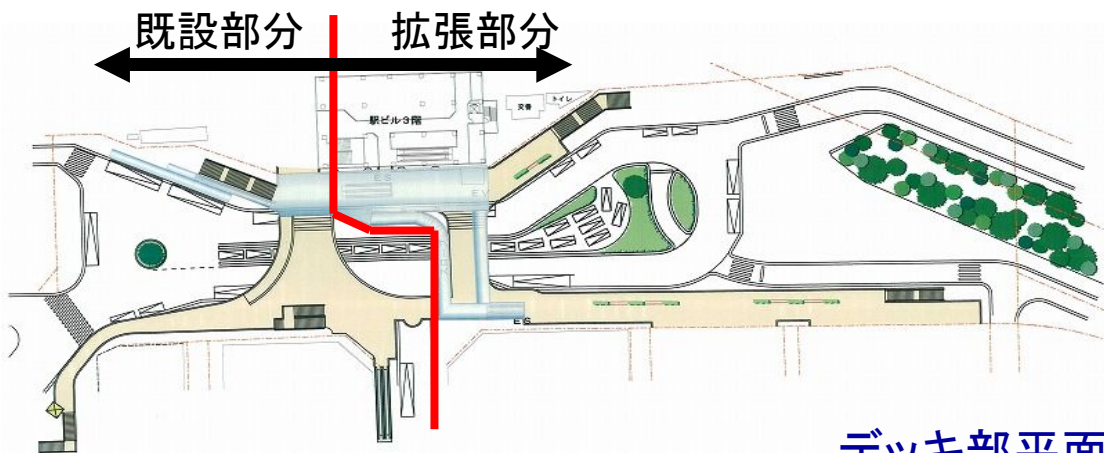
事業位置図



既存部分 拡張部分



既設部分 拡張部分



三鷹駅南口駅前広場のアピール資料

緑の小ひろば平面図



○事業概要

事業名: 三鷹駅南口駅前広場
第2期整備事業
路線名: 三鷹都市計画道路3・5・16号
三鷹駅南口線
事業箇所: 三鷹市下連雀三丁目内
整備面積: 約3,688㎡
総事業費: 約62億円
事業期間: H8～H17年度

○緑の小ひろば

市民からワークショップ形式でのセミナーで意見聴取して設計を行った。適正規模の植栽により、玉川上水との一体感を演出するとともに多目的な利用を可能にした。

地下には雨水浸透貯留施設を設置し、保水性ブロック舗装の打ち水効果によって路面の温度上昇を抑制する。

この場所から、三鷹の森ジブリ美術館へ向かうコミュニティバスが発車しており、多くの観光客が利用している。

また、駅前広場完成記念式典などの各種イベントにも活用されている。

緑の小ひろばから風の散歩道を望む



事業前: H7



事業後: H18.6

緑の小ひろばから風の散歩道を通して井の頭公園、三鷹の森ジブリ美術館へとつながっている。

事業前写真

↓ 広場東側から中央を望む

平成8年9月撮影



↓ 広場中央から東側を望む

平成6年10月撮影



→ 三鷹橋

平成16年3月撮影



事業後写真

↓ 広場東側から中央を望む

平成18年6月撮影



↓ 広場中央から東側を望む

平成18年6月撮影



→ 三鷹橋

平成18年3月撮影

